



市子連マーク

大阪市こども会

いくせい



大阪市こども会
育成連合協議会
発行者 中山 良明
平成24年3月31日

発行所：大阪市中央区法円坂1-1-35 アネックス・パル法円坂 市子連広報調査部 Tel.6941-1116 Fax.6943-8906

第二十九回大阪市こども会文化祭

「吉野・新家子ども会」

私たち、吉野新家チアリーディングクラブ「スマイルーズ」は、平成22年の5月に結成されました。はじめは16人だったけど、今は22人に増えました。



3月4日（日）鶴見区民ホールにて、17団体が参加して「子ども文化祭」が開催されました。結果、最優秀賞には、福島区吉野新家子ども会。優秀賞には、淀川区北中島連合子ども会が受賞しました。

昨年の文化祭で優秀賞をいただいて、今年は最優秀賞をいただけるよう、力を合わせて練習をがんばりました。そして迎えた本番!!今までの練習してきた成果を出ししきることができました。

そして、最優秀賞の発表で名前を呼ばれたときは、とてもうれしかったです。

今回の文化祭で、目標だった最優秀賞をいただけなので、次も最優秀賞を目標に、これからも練習をがんばりたいと思います。

私たちはこれからも目標に向かって走り続けます!!



平成二十三年度中央研修会

映像を取り入れながら、まずアイスブレーキング、参加者間の緊張をほぐし、参加者がお互いに親しみを持ち、主体的な学習に参加する雰囲気をつくるエクササイズを取り入れた参加型学習会でした。

平成24年2月26日（日）23年度中央研修会が実施されました。今年度は、社会の中で育つ子ども教育環境の変化と社会的構成主義」と題して畿央大学教育学部准教授 西端律子氏を講師に招き講演していただきました。

指導研修部 永澤 美智子



いことを地域で担うこと・地域の教育力向上にどう関わっていけるか・

人と人とのコミュニケーションとい

う観点に当てはめて考えてみたり、

地域での子ども会を見つめなおす機

会が得られました。

子どもを取り巻く環境や子ども会

の課題が多様化している中、昨年3

月11日の東日本大震災に際し、地域

を基盤とする子ども会は、安全・安

心への対応が期待されているところ

です。

特に地域づくりの原点である子ども会の姿を確認する場所として、地域からの力を湧き起こす取り組みに繋げていける研修を実施することができました。



各区子ども会活動報告

中央区

『中央区子ども会育成連合協議会』

毎年恒例の春には小学校対抗のキックベースボール大会・ソフトボール大会に優勝したチームが、市大会に出場しています。



り、地域連合ごとに子ども会行事（もちつき・etc）を行っています。これからも地域、多くの育成者、学

校の協力応援を得て、行事が出来るこ

とに感謝しつつ、育成者の高齢化子ど

もの少子化に伴い、育成者の交代や増

員などいろいろと問題がありますが、

子どもたちの笑顔を見るために頑張っていきたいと思います。

員などいろいろと問題がありますが、

子どもたちの笑顔を見るために頑張つ

て頑張つ

て頑張つ

秋には区民まつりの子ども村として各校下から、ふわふわボリン、ミルクせんべい、ドジョウつかみ、やきとり、射的、うどん、ポン菓子、コイン落としなどの模擬店を出店しています。キックベースボール・ソフトボール秋季大会も行っています。その他には、区内7校の小学校があ



西淀川区

姫里子ども会結成六十周年記念行事

「フェスタひめつこ」

姫里子ども会結成60周年記念行事「フェスタひめつこ」を、平成23年10月16日晴天のもとに開催致しました。

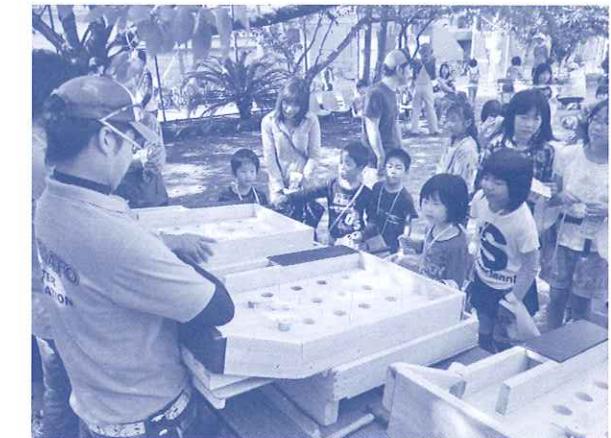
10年前に50周年行事を大々的に行いましたが、今回の「フェスタひめつこ」は、予想を上回る400名の子ども達が一同に参加して、手作りのスマートボールやストラップアウト・工作等に熱中しながら、そばせん・ポップコーン・フランクフルトを頬張り、



淀川区

『加島連合のソフトボール チームが大活躍』

加島連合広報部



今回「いくせい」にのせる淀川区の原稿を加島さんにお願いしますと言われた背景には、加島連合ソフトボルチームの活躍があります。大阪市子ども会大会での優勝と夏の全国大会（主催は日本ソフトボール協会）での準優勝というすばらしい成績です。



そこでチームの紹介をします。

現在の部員数は20人で週5日の活動



火・水・金が練習日で16時30分から19時までです。土・日はほとんどが試合で、子どものソフトボール大会を主催する近畿連盟という任意団体に加盟しているそうです。監督・コーチとして登録している大人は7人で地元加島の若者と保護者が協力して運営しています。今後の目標は、ほんとに惜しかった全国大会での優勝をめざしていることがあります。

東成区

『自然と親しむ体験学習& ジユニアリーダー研修会』

東中本子ども会

東成区では、毎年区内の児童を対象に「自然と親しむ体験学習＆ジユニアリーダー研修会」を行っています。

今年は淡輪にある大阪府立青少年海洋センターを利用し、野外すいさんやカツタ－体験を行いました。

到着後はすぐに野外炊さんの準備です。慣れない手つきで包丁を握り、手分けして材料を切っていきます。カレーを炊くための火も自分達でおこさないといけません。みんなが協力してやつと昼食です。

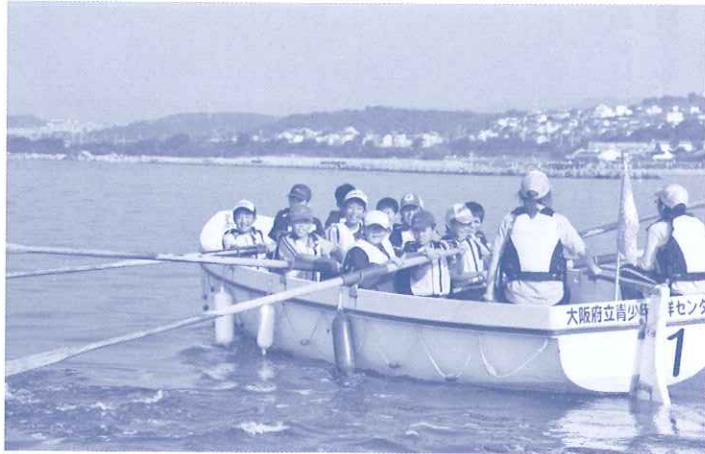


昼食の後片付けが終わると、待ちに

待ったカッターライフジャケットを着た子どもたちは少し緊張していましたが、指導スタッフさんと一緒に海に繰り出すと大はしゃぎでした。

しかし大きなカッターは全員が力を合わせて漕がないと進みません。最初はバラバラだった声や気持ちも、最後には一つになり、岸に上がった時には達成感を味わったことと思います。

この体験学習を通じて、子どもたちは仲間との協調性や、自主性の大切さを知ることが出来たと思います。今後もこのような活動を継続していくことが、私たち指導者の使命だと考えます。



鶴見区

広報部長 西川美弥子

平成23年6月5日に行われた2つの行事を紹介致します。

1つ目は午前中に近隣の花博記念公園にて低学年野外活動を行いました。花博で行うのは今年度で4回目となり、11校下合わせて約260名とたくさん

の子ども達の参加となりました。

広大な芝生広場を利用し、8ヶ所に設置したゲームコーナーを、子ども達が校下毎に5名1組のグループで指導者と一緒に回ります。各コーナーでグ

ループ全員がゲームに参加した後、配布したスタンプカードに各自押印してもらい、8ヶ所のスタンプを集めれば終了です。

ゲームはジュニアリーダーによるバーレンアートをはじめ、各校下が担当し、輪投げ、スリッパとばし、目隠しトレインなど、低学年の子ども達が楽しめる様にそれぞれ趣向を凝らしました。

子ども達と一緒にゲームを楽しみ親睦を深めることができたと思います。

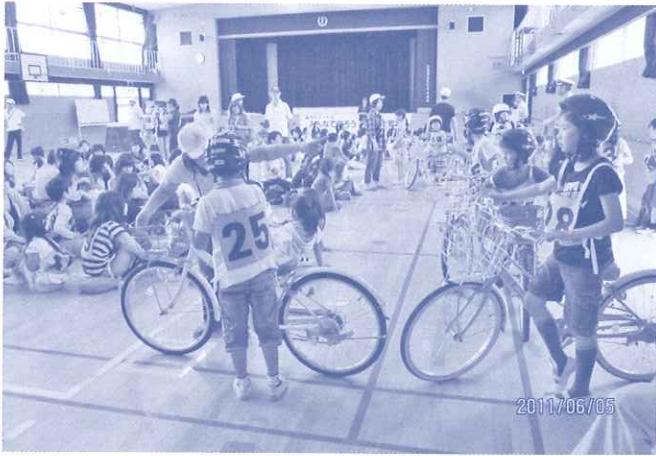
2つ目は午後より近隣校下の講堂をお借りして、警察の方による子どもの交通安全指導を行いました。こちらも各校下から全学年で約100名の子ど

も達が参加しました。

子ども犯罪被害防止について「五つの約束」をわかりやすくお話しして頂いた後、講堂の中に交差点や信号、障害物などを設置し、実際に一人ずつ自転車走行をさせました。警察の方々はも

ちろん、指導者も大変な労力が要りましたが、日々の犯罪防止や交通安全に対する意識が子どもも大人も少しでも高まつたのではないかと思います。

1日に2つの行事と忙しくもありましたが、指導者の協力のもと、参加したたくさんの子ども達と一緒に楽しく遊び、学びと、有意義な1日となりました。



旭 区

城北ユニアオンズ監督 徳山 勇寛

物などを設置し、実際に一人ずつ自転車走行をさせました。警察の方々はもちろん、指導者も大変な労力が要りましたが、日々の犯罪防止や交通安全に対する意識が子どもも大人も少しでも高まつたのではないかと思います。

城北ユニアオンズは城北校下に属する子供会の会員で運営されているソフトボールチームです。

近年の少子化にともないどこの校下も子供会の活動が、縮小されていく中で、ソフトボールを通じていろいろな人の交流をしたい。また4年生以下の子供たちにもっとソフトボールを好きになってもらいたい。

子供会校下代表の岩城さんと常々そんな話をしている中で立ち上げたのが「城北ユニアチャンピオンカップ」です。

同じ気持ちの指導者がことのほか多く、集まったチーム48チームが昨年の10月から予選会をおこない來たる2月19日には決勝トーナメントに16チームが出揃います。

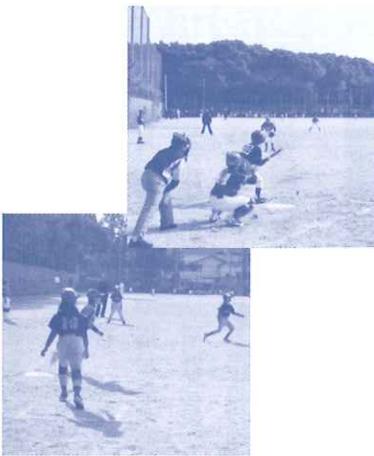
予選会では、朝早くからチームの保護者の方々の準備設営、試合では小さな子供たちの泣き笑い、歓声やため息、保護者はもとより、おじいちゃん、おばあちゃんからも大きな声援をもらつた子供達はいきいきと白いボールを追っていました。

この大会に携わってくれたすべての皆様に対してもこの場をお借りし、お礼申し上げます。

東住吉区

「区子連スポーツ交流会」

東住吉区子連広報



平成23年11月にソフトボール、キッズベースボール大会が行われました。

練習の成果が試される時でもあります。その中で白熱した試合が何試合もあり感動するプレイも多く、日々努力している事がよくわかりました。

その中で、ソフトボール、キックベースボールとも今川子供会がアベック優勝されました。勝つて歓び、敗けて涙のシーンもあり、そして6年生にとっては最後のスポーツの大会でもありました。

そこで、白熱した試合が何試合もあり感動するプレイが多く、日々努力している事がよくわかりました。

「都島区 第4分隊」

向井 由貴子

市子連第4分隊は都島区東都島

連合子ども会鼓笛隊として、昭和37年に産声を上げ現在に至っています。

この厳しい社会情勢の中運営も苦しくなってきていますが、常に子ども達の事を考えて何事に於いても前向きに取り組んでいます。

毎週土曜日の午前中に東都島小学校の音楽室で、皆仲良く楽しく練習しています。

色々な曲にむかって真剣に楽器に挑戦している姿は、頼もしくもあり、可愛くもあります、子どももってほんとにすばらしいなあと感じます。

5年前より管楽器を導入して、以前より一層充実した鼓笛隊となってきたのですが、肝心の隊員の集まりが悪く、もっと大勢の子ども達に入隊してほしいと願っています。

鼓 笛 隊 だ よ り

市・区の行事に参加して、多くの元気一杯東住吉区子連の子ども達です。

6年間よく頑張ったなと誉めてあげたいと思います。そして残ったみんなは、また来年の大会を目指して頑張ってもらいたいと思います。

友達と楽しい思い出が出来るように、今後とも皆様のご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

「東住吉区 第5分隊」

前澤 一幸

発隊は昭和37年で、市子連の鼓笛隊

結成当時から活動を続けています。

少子高齢化や家族レクリエーションの多様化などの影響を受け、昭和40年代には最高100人を超える隊員がありました。現在は14人まで減少し、細々と活動を続けています。

地域との連携を深め、社会を明るくする運動や敬老行事での演奏を中心で活動しております。

大阪市の行事にはおとなりの住吉区（第6分隊）との合同隊で参加をさせていただき、少ない人数をカバーしております。



11月19日（土）・20日（日）仙

台市の名取川の上流にある、仙台の奥座敷といわれる秋保温泉「ホテル二ユース水戸屋」の会場に於いて、盛大に開催されました。

『元気になろう子ども会、親

も地域も一緒に元気』をテーマに掲げ、開会式は（社）全国子ども会・丸山会長、指定都市子ども会育成協議会・宿野会長を迎え、来賓として仙台市長代理の稻葉副市長、仙台市議会木村



大阪市子連からは11名の役員、理事が参加した。

た。

一日目は全体会のあと、閉会式で仙

宮城県ジユニアリーダーの第一期生として、学生時代より子ども会育成にかわられ、教育・子ども文化・町作りなどをテーマに地域の感動をプロデュースされ、東日本大震災の被災地支援に活躍された方で、被災地で子どもも大人も笑顔を取り戻すために力と情熱をもち地域が子どもに元気を与えていかねばという思いを熱く語られた。

そのあとの分科会は4つに分かれ、第一分科会において、テーマは「子ども会、育成活動と運営について地域や学校における子どもの健全育成活動」についてであった。大阪市子連中山会長が発表者として活躍された。

第二分科会は、「ジユニアリーダーの育成、活動活性化」について話し合われた。

第三分科会は、「地域・組織との連携」について話し合われた。

第四分科会は、「被災地の未来を担う若者たちの再生に参画する新田氏を迎えての分科会であった。

副議長の祝辞で幕をあけた。永年功績のあった25人の個人と、6団体の子ども会が表彰され、大阪市子連として、定丸正人氏・榎本由紀子氏・岡田誠二氏がめでたく受賞されました。

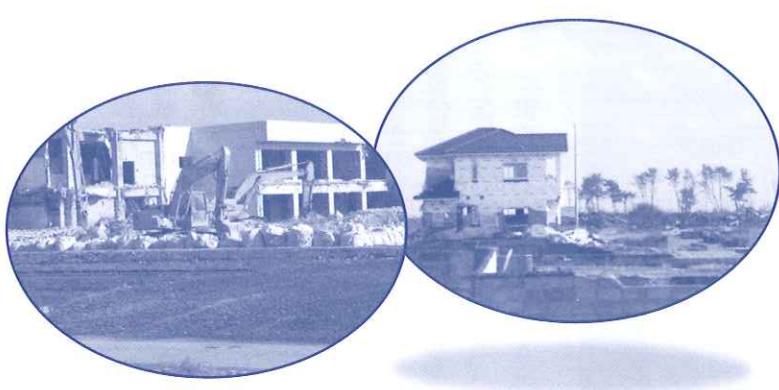
恐ろしい思いをされた事だろうかと胸が痛んだ。少し高台にある日和山には一本の松と桜が残っていて、四月には桜の花を咲かせたとの事、草木の生命力には感心しました。

一日も早い復興を祈りながら、仙台空港から帰路につきました。



会場からバスを用意していただき、津波の被災地を視察させていただける事になり、若林地区と荒浜地区名取川河口付近の閑上漁港や市場も津波にさぎ倒され、見渡すヘドロの空間には、家の土台だけが残り、畑の中に漁船がまだ乗り上げていたり、車や自転車、単車の瓦礫の山が所々ある光景に津波の恐ろしさを感じました。

閑上小学校と体育館が被害を受けたまま残っていたのを見て、どんなにか



第四十九回大阪市各区子ども会対抗親善ソフトボール大会

優勝・・・淀川区
準優勝・・・東淀川区
第三位・・・中央区
玉造バスターズ
清水丘アパツチジュニア

決勝戦までの4試合を3回抽選で勝ちました。
2回戦の抽選勝ちの時、監督が「強いから、抽選で勝てるんや」と言つていましたが準決勝の抽選勝ちの後、監督が「しょうもない試合やるんやつたら、一ヶ月練習なしやからな」と怒られました。

それでチーム一丸となり決勝戦では1対0と優勝候補の大通連合に勝てたんだと思います。

加島連合子供会

主将 大橋 茜

優勝・・・淀川区

加島連合子供会



優勝・・・淀川区

準優勝・・・東淀川区

大道南連合子供会



第三位・・・中央区



第三位・・・住吉区

平成二十三年度表彰者

指定都市表彰者
平成二十三年十一月

平成二十三年十一月六日



平成十四年一月十日

平成二十
全子連表彰者

淀川区	西淀川区	浪速区	天王寺区	大正区	港区
林	林	山口	下野	河西	河西
光枝	勝義	邦子	美智子	喜一	昌美
				正剛	松子
					恒美
					直人
					照子

淀川区	西淀川区	浪速区	天王寺区	大正区	港区	中央区	都島区							
林	林	山口	下野	下野	河西	河西	江本	江本	増田	増田	高山	高山	奥畠	奥畠
光枝	勝義	邦子	美智子	喜一	昌美	正剛	松子	恆美	直人	照子	佳子	和眞	きのみ	鉄雄

市子連表彰者

平成二十四年二月二十六日



淀川区	団体の部	港 区	住 吉 区	住 之 江 区	鶴 見 区	旭 区	東淀川区
下新庄連合子供会	港子ども会育成会	林 林	河 合	河 合	大 角	永 泽	伊 藤
		正 晃	喜 美	和 美	由 美 子	守 人	美 智 子



編集後記

2年間広報部を担当しまして、各区広報部長を始め、市子連・区子連理事の皆様方には、原稿依頼でご協力いただきたことを、紙面をお借りしてお礼申し上げます。

市子連中央ブロック
広報部一同



平成二十四年三月四日

子ども会組織の部

天王寺区 淀川区 阿倍野区 真田山子供会 神津連合子ども会 あさひ子供会

敬稱略